

平成23年度事業計画書

平成23年度収支予算書

社団法人日本劇団協議会

東京都新宿区新宿 6-12-30 芸能花伝舎 3階

Tel 03-5909-4600 Fax 03-5909-4666

はじめに

平成 23 年度（2011 年度）、当協議会は新公益社団法人への移行手続きを具体的に進めます。そのために新しい定款の作成なども開始しますが、これは同時に当協議会の果たすべき社会的な役割を明確にしていく作業でもあります。

去る 1 月 31 日文化審議会「文化芸術の振興に関する基本方針（第三次）」が出されました。この中で、「文化芸術団体への支援方法を抜本的に見直し、インセンティブが働く支援制度を導入」や「劇場、音楽堂等の法的基盤の整備に係る具体的検討」が掲げられました。それを受けて、文化庁には「劇場・音楽堂等の制度的な在り方に関する検討会」が設置され、法的整備についての検討が開始され、さらに芸術文化振興会にも「文化芸術活動への助成に係る審査・評価に関する調査研究会」が置かれ、新たな支援システムの検討が始まっています。特に「赤字補填方式からの転換」は、この数年来、当協議会が文化庁に対し要望してきたことが一定程度反映したものです。それぞれの検討会、研究会に対しては当協議会としての意見も提出していますが、さらに動きを注視しながら、協議会内での情報交流も含めて積極的な意見交換の場を作っていくことが求められているでしょう。

また、一昨年「事業仕分け」で芸術団体への支援の大幅減額が言われたことに対し、昨年、(社)日本芸能実演家団体協議会の呼びかけに応え、「もっと文化を」キャンペーンに参加し、文化予算の大幅増額を求める署名運動も行ってきました。そのこともあってか、平成 23 年度政府予算案では文化予算そのものは微増となっていますが、一方で、「文化庁芸術創造活動特別推進事業」など芸術団体への支援金額は減額となっています。また、文化庁事業そのものの見直しが言われたために、「新進演劇人育成事業」などで、当協議会の事業も組み直しが求められました。その中では、「文化庁舞台芸術創作奨励賞」の廃止以来求めてきた「戯曲賞」の再開が、「日本の劇」戯曲賞という形で実施できたことは一つの前進と言えるでしょう。

いずれにしても来年度もまた、演劇公演をめぐる状況が基本的に厳しいことには変わりはないと予測されます。各委員会での活発な討議、活動を進めながら、加盟団体に止まらず、広く演劇関連団体や非加盟の演劇創造団体、演劇人との協力を深め、演劇の果たしている社会的役割を高く掲げながら、政府、文化庁などへの働きかけを引き続き行なっていきます。

平成 23 年度(2011 年度)事業計画(案)
平成 23 年(2011 年)4月1日～平成 24 年(2012 年)3月 31 日

1. 演劇公演の制作と上演

(1)日本の演劇人を育てるプロジェクト

～トップレベルの演劇人を多面的に育成し、現代演劇の振興発展を図る～

(文化庁次代の文化を創造する新進芸術家育成事業に申請中)

これまで実施してきた事業を再構築し、統括団体ならではの広い視野で様々な人材育成事業を行い、世界に通用する創造性豊かな新進芸術家(演劇人)を育成する。

主催／文化庁 制作／社団法人日本劇団協議会

① 在外研修の成果

文化庁新進芸術家海外研修制度(平成 13 年度までは芸術家在外研修、14 年より 20 年度までは新進芸術家海外留学制度)により研修を行った若手芸術家に研修成果を発表する機会を提供するという事業で、平成 17 年度より実施しており 22 年度は『男は男だ』を上演。平成 23 年度は新たな枠組みの中で実施の予定。

『ポルノグラフィー』

作／サイモン・ステイーヴンス 訳／広田敦郎

演出／上村聡史(平成 21 年度派遣 文学座)

美術／長田佳代子(平成 21 年度派遣) 照明／藤田隆広(平成 18 年度派遣)

衣裳／半田悦子(平成 12 年度派遣)

プロデューサー／吉田健二(イツフォーリーズ)

平成 23 年 12 月 8 日～13 日(7 回予定) 会場／恵比寿・エコー劇場

②新進演劇人育成公演

舞台芸術分野の優れた新進演劇人で発表の機会に恵まれない者に、発表の機会を提供することにより、新進芸術家の育成を図る事業。平成 14 年度から文化庁の委嘱事業として実施していた「新進芸術家公演事業」を引き継ぎ「次世代を担う演劇人育成公演」として、平成 17 年度から 21 年度まで文化庁芸術団体人材育成支援事業として実施してきたが、平成 23 年度は再構築し、新たな枠組みの中で[劇作家部門][演出家部門][俳優部門]と部門別に実施することにより事業の趣旨を明確にし、さらなる成果を期待する事業。

[演出家部門]

ミュージカル『熱愛報道(仮題)』

作・演出（育成対象）／中屋敷法仁（柿食う客）
プロデューサー／吉田健二（イツフォーリーズ）
平成24年2月24日～28日（7回） 会場／アトリエフォンテーヌ

【俳優部門】

A. 『ソープオペラ』

作／鈴木裕美・飯島早苗 演出／西海真理
プロデューサー／夏川正一（朋友）
平成23年7月13日～19日（10回） 会場／中野・MOMO

B. 『リアル・シンデレラ・ストーリー』

出演／石飛幸治、藤原啓児、山崎康一、松本慎也、関戸博一
作／倉田淳 演出／平河夏
プロデューサー／吉田隆太（スタジオライブ）
平成23年8月17日～28日（18回） 会場／ウエストエンドスタジオ

C. 『改訂版 嗚呼 冒険王』

作・演出／岡部耕大
プロデューサー／岡部耕大（岡部企画）
平成23年9月29日～10月5日（10回） 会場／テアトロドソーニョ

D. 『三人姉妹』

作／A.チェーホフ 演出／鐘下辰男
プロデューサー／森釗（俳優館）
平成24年2月3日～9日（8回） 会場／愛知県芸術劇場小ホール

③新進劇団育成公演

主宰者・構成員すべてが新進芸術家で、将来、我が国の演劇界を牽引すると期待される劇団（集団）を加盟非加盟を問わず育成する事業。

A. 『刃、刃、刃！（仮題）』

育成対象劇団／アトリエ・センターフォワード（主宰者 矢内文章）
作・演出／矢内文章
美術／宇野奈津子 制作担当／松本恵美子
スーパーバイザー／森正敏（青年座）
平成23年6月23日～30日（11回） 会場／シアター風姿花伝

B. 『極めてやわらかい道（仮題）』

育成対象劇団／ゴジゲン（主宰者 松居大悟）

作・演出／松居大悟

舞台監督／川除学＋至福団 美術／片平圭衣子 照明／伊藤孝 音楽／森優太

映像／大見康裕 衣裳／本間圭一、横田真理 プロデューサー／北川隆来

スーパーバイザー／伊藤達哉（ゴーチ・ブラザース）

平成23年10月5日～23日（25回を予定） 会場／下北沢・駅前劇場

2. 青少年を対象とする演劇鑑賞教室等の実施

(1) 高校生・中学生のための巡回公演（芸術文化振興基金に申請中）

平成22年10月8日開催の選考会で内定。

●期間と地域

平成23年5月～11月 東京都ほか1道2府22県 7作品100回

●演目、制作団体、回数

①『**ダイヤル ア ゴースト -幽霊派遣会社-**』制作／うりんこ（10回）

作・演出／山崎清介

②『**ハンナのかばん**』制作／コーロ（10回）

作／カレン・レビン 翻訳／石岡史子（ポプラ社刊） 脚本／宮越洋子 演出／菊池准

③『**修学旅行**』制作／青年劇場（20回）

作／畑澤聖悟 演出／藤井ごう

④『**ラリー ぼくが言わずにいたこと**』制作／東京演劇アンサンブル（15回）

作／ジャネット・タージン 脚本・演出／公家義徳

⑤『**センポ・スギハアラ 再び夏へ**』制作／銅鑼（10回）

作・演出／平石耕一

⑥『**ミュージカル『火垂るの墓**』制作／ポプラ（15回）

原作／野坂昭如 作／神野純市 演出／木島恭

⑦『**ミュージカル『アトム**』制作／わらび座（20回）

原案／手塚治虫 脚本・演出／横内謙介

(2) 都立高等学校 定時制通信制課程演劇鑑賞教室（東京都教育委員会主催事業）

平成7年度から都の委託公演として、定時制高校生を対象にした合同観劇を実施。平成22年度は汎マイム工房制作の『道化師芝居 THE PARADE』を上演した。現在、下記の内容で公募中。

企画・制作／社団法人日本劇団協議会

演目／未定（公募中）

平成24年1月18日（水）～20日（金）（3回） 会場＝銀座プロッサム中央会館

3. 新人劇作家の育成

(1)日本の演劇人を育てるプロジェクト

（文化庁次代の文化を創造する新進芸術家育成事業に申請中）

主催／文化庁 制作／社団法人日本劇団協議会

①「日本の劇」戯曲賞

現在第一線で活躍する演出家たちが選考し、最優秀賞に選ばれた作品は必ず上演される戯曲賞。22年度より文化庁の委託事業として実施、103作品の応募の中から予備選考で9作品が選ばれ、さらに選考の結果、今井一隆氏の『オトカ』が最優秀賞に決定。3月25日より恵比寿・エコー劇場において土田英生氏の演出で上演の予定。

選考委員／丹野郁弓、土田英生、西川信廣、原田一樹、宮田慶子

応募締切／6月末 選考会／8月（予備選考は7月）

公演／平成24年3月23日～27日 7回 会場／恵比寿・エコー劇場

公演に関するプロデューサー／菅野重郎（アール・ユー・ピー）

②新進演劇人育成公演

[劇作家部門]

『ロウソク60本で燃える（仮題）』

作（育成対象）／古川貴義（箱庭円舞曲）

演出／磯村純 美術／根来美咲 舞台監督／川上祥爾

プロデューサー／森正敏（青年座）

平成23年9月14日～19日（7回） 会場／青年座劇場

4. 演劇人の研修会、シンポジウム等の開催

(1)日本の演劇人を育てるプロジェクト

（文化庁次代の文化を創造する新進芸術家育成事業に申請中）

主催／文化庁 運営／社団法人日本劇団協議会

新進演劇人集中講座

国内外の優秀な指導者によるワークショップ。将来を期待される全国の新進演劇人に広く門戸を開き、統括団体ならではの多様なシステムによる研修。

A. 日本の近代・現代劇へのアプローチ 西川信廣ワークショップ

平成 23 年 6 月 27 日～7 月 11 日 会場／文学座稽古場

講師／西川信廣

コーディネーター／佐々木綾香（文学座）

B. モスクワ芸術座附属演劇大学夏季ワークショップ in 東京 2011

平成 23 年 7 月 15 日～8 月 1 日 会場／青年劇場スタジオ結

講師／セルゲイ・シェンタリンスキイ（モスクワ芸術附属演劇大学助教授）

ヴィクトル・ニジェリスコイ（立教大学現代心理学部准教授）

コーディネーター／福島明夫（青年劇場）

C. マールイ・シアターズ・ワークショップ

平成 23 年 7 月 29 日～8 月 13 日 会場／アトリエ俳小

講師／ウラジーミル・ベイリス（マールイ劇場主任演出家）

コーディネーター／いがりたかし（俳小）

D. フィリップ・ゴーリエ演劇ワークショップ VOL.9 運営／青年座

平成 23 年 8 月 2 日～13 日（8.9 日は休講） 会場／青年座劇場

講師／フィリップ・ゴーリエ（フィリップ・ゴーリエ国際演劇学校校長）

コーディネーター／森正敏・檜山淳子（青年座）

E. エデュケーションワークショップ 2011

平成 23 年 8 月 8 日～17 日 会場／朋友芸術センター

講師：ケネス・テイラー（英国ミドルセックス大学 PGCE 課程主任教官）

コーディネーター／西海真理・夏川正一（朋友）

F. 鴻上演劇研究所ワークショップ 運営／サードステージ

平成 23 年 9 月中旬～下旬（予定） 会場／都内スタジオ

講師／鴻上尚史、板垣恭一（予定）、黒川竹春（予定）

コーディネーター／中山梨紗（サードステージ）

（2）懇談会「学校公演合同鑑賞の現状を聞く（仮題）」

平成 23 年 9 月～11 月

会場／芸能花伝舎

(3) 演劇ワークショップ講師派遣の斡旋

コミュニケーション教育／演劇ワークショップ講師をホームページ上で紹介し、斡旋をする。

5. 演劇に関する国際交流

- ①諸外国演劇人との交流
- ②出版物等の海外への送付。

6. 演劇に関する内外の調査研究の実施

- ①年間の加盟団体の実態調査
- ②年間の加盟団体学校公演・海外公演の実態調査
- ③現代演劇の全国巡演状況および観客組織の実態調査

7. 会報・出版物の刊行

- ①機関誌「j o i n」の発行（年3回）
- ②「日本劇団協議会ニュース」の発行（随時）
- ③日本劇団協議会ホームページの更新管理（随時）

8. その他目的を達成するために必要な事業

- (1) NHK・民放各社との出演料の交渉、制作会社との折衝
- (2) 会議等 各委員会・懇談会の開催および折衝
- (3) 事業の斡旋

文化庁新進芸術家海外留学制度研修員の推薦

(4) 他の団体との交流提携

芸術家会議、社団法人芸能実演家団体協議会（芸団協）、一般社団法人映像実演権利者合同機構（PRE） 俳優関連団体連絡協議会（俳団協）、東京都芸術文化団体協議会（都芸協）、全国演劇鑑賞団体ほか

①子どもと舞台芸術－出会いのフォーラム実行委員会主催事業

平成23年7月25日 会場／オリンピック記念青少年センター会議室

以上の事業は、事業企画委員会、人材育成委員会、広報委員会、学校公演委員会、演劇と社会委員会、地域と演劇委員会、法務委員会、観客ネットワーク委員会、国際交流委員会、演劇センター構想委員会、財務委員会、公益法人改革対策プロジェクトほかで推進する。